

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

今月の便り

共生

大地が緑に覆われる季節。青空の下タンポポの黄色の花が暖かな光のようで心も温まる気がします。綿毛を飛ばして繁殖するたんぽぽ。地下茎を張りめぐらせ繁殖するスギナ。イネ科の植物。これら人の手を煩わせずとも勝手に繁殖する需要のない植物（雑草）たちのなんと力強いことでしょうか。彼らは風に乗って、または地下を突き進み国境をいともたやすく超えて各大陸を覆い尽くしています。なんと逞しい。ウイルスとの共生を求められている私たち人間も未来はちっぽけな国家間の駆け引きなどを超えて、これらの植物のように力強くありたいものです。本来自宅の庭作りには雑草と呼ばれているものは厄介者となりますが、芝生、通路など生えてほしくないところは綺麗に除草。花壇の中ではでは目立たない程度に生えていてもキリキリせず買って植えたお気に入り植物の邪魔をしない程度に適当にカット。そんな庭も充分美しく見えるし環境はかえって健康的な気がします。共生とはそんな考え方ではないでしょうか。（きのした）

クサノオウ

数年前から園内で見られるようになったクサノオウ。2センチほどの黄色い花を5月半ばごろから咲かせます。クサノオウはケシ科の越年草で種は上を向いた円筒形のさやの中で育ちます。熟した種は遠くまではじけ飛びます。また種にはアリが好む白い脂肪の塊が付着しており、アリはこの脂肪の塊を食べるために巣へと運搬します。園内にはアリの巣がたくさんあるのでどこからか運ばれてきたのかもしれないね。種は秋のうちに発芽し、地面に添うように葉を広げてそのまま越冬するのです。北海道から九州まで広く分布しているクサノオウですが、さまざまな漢字が当てられています。「草の王」「瘡(くさ)の王」などが有名で、これはクサノオウが持つ薬効(やっこう)が皮膚病に効くとされていたため、薬草としての効果の高さから薬草の王とされたり、皮膚病を表す瘡(くさ)という字を当てられたりしたものといわれています。またクサノオウを傷つけると黄色い液体が出ることから「草の黄」ともいわれています。この黄色い液体には毒性があり、かぶれてしまうことがあるので注意が必要です。（いとう）

オンコもどき

雪が溶けて間もない山道を歩いている人から、林縁にオンコがたくさん生えていたという話を聞くことがあります。昔は植木ブームでイチイ(オンコ)は人気があり、これはいいものを見つけたとばかり庭に植え、笑われた人が結構いたそうです。残念ながらこれらはハイイヌガヤ(Cephalotaxus harringtonia var. nana)といって、道央、道南から本州の日本海側などに分布する常緑性針葉樹。雌雄異種で長辺2cmくらいの楕円形の実をつけます。無理して食べる程のものではありませんが、胚乳から採った油は良質で、縄文時代より燈火として、後に神社等の神事にも使われてきました。

(かわはら)

バラと草花の庭

6月に入り庭の中は小球根が終わり宿根草やバラの株が勢い良く生育を始めている事でしょう。お店に並んだ一年草も、目に入りつついつい買ってしまふ楽しい季節ですね。バラは長い冬を耐えて、芽吹き色々な作業をへて今頃は、小さな蕾が見えるか？毎日庭パトと呼ばれる点検に出来るべく生育中。気温上昇と共に病害虫や病気も発生してきます。毎日の点検でアブラムシなど見つけたら手で取るなど農薬に頼らず環境を整えて、stay homeの今、自分流のローズガーデン・ハーモニーを気楽に楽しんで下さい。不明な事があれば色彩館 緑の相談コーナーに問い合わせして下さい。

(たかはし)

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

花・野菜を育てる初歩的注意

花壇の花苗や家庭菜園の野菜など、種蒔き、苗植えは終わりましたか。苗には添木や風よけの対策をきちんとしなければ、風により苗が揺れて、根切れをします。また、ビニールなどで覆い（トンネル）をしたままにしておくと、高温多湿になり、病気や高温障害が発生しますので、要注意です。そこで、「寒冷紗」や「虫よけネット」を使用すると管理しやすいです。寒冷紗・虫よけネットについては、次ページ「チョット一服」欄をご覧ください。これから苗が大きくなり、綺麗な花を咲かせたり、美味しい実をつけたりしますが、花や野菜は生き物です。水を適宜に与えたり、食事（追肥）を与えたりして、愛情を込めて育てましょう。

（ながやす）



バラ園

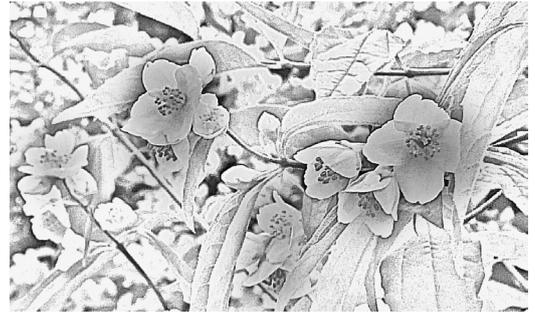
バイカウツギ（サツマウツギ）

Philadelphus satsumi

シノニム： *P. coronarius*、 *P. coronarius* var. *satsumi*

アジサイ科バイカウツギ属

原産地：日本（本州、四国、九州）



当園ではイングリッシュローズガーデンに入る所、旧緑のセンターの側道沿いに生垣状に植えています。6月中旬頃から見ごろを迎え、ふわりと香るたくさんの白い小花がひときわ目を惹きます。自生の北限は岩手県南部とされていますが、北海道でも越冬します。剪定も花付きの悪い老化枝を取り除いたり、暴れる枝を整える程度でもたくさん花を付けてくれて、お手軽に育てることができます。学名の *satsumi* (サツミ) の語源は「サツマ(薩摩)」から来ています。意外と日本語由来の学名って多いんだな～と感心します。ちなみに、シノニムとは直訳すると「同義語、類義語」となりますが、植物の世界に関しては、複数の学名を持つけれど正式名ではない「異名（本当の名前以外の別名）」という扱いになります。



今月の開花情報

防虫、遮光の効果をもつ布が寒冷紗（かんれいしゃ）です。

量販店には、花苗・野菜を守る園芸用品に「不織布」や「虫よけネット」「遮光ネット」が販売されています。初期投資で少しお金がかかりますが何年も使用できますので是非一度お試しください。寒冷紗は、虫よけ・保温・遮光・風除けと万能です。寒冷紗の上からジョウロで水やりも可能で、花苗や野菜の成長を見ながら育てることができます。

直射日光を嫌う植物には、黒の「遮光ネット」もあります。寒冷紗の「虫よけネット」は、保温性には少し欠けますが、網目が 0.4 ~ 0.6mm もあり、アブラムシ、キスジハムシ、ナモグリバエ等の小さな虫も防ぐことができます。虫よけネットには「銀の糸」が織り込まれていて、アブラムシ等が光を嫌って、寄り付きにくいのです。ただし、長雨が続いたら

トンネル内の湿度が上がり、病気になる場合があるので、3日以上雨が続くようなら裾を少し上げておき、空気の流れを作りましょう。寒冷紗、虫よけネットを使い分け、お野菜を無農薬で作ってみませんか・・・

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第七十二回

フロリバンダローズ

オイティン

Eutin

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：1940年

ハーディネスゾーン：Z4

繰り返し咲き性

交配：Eva(HMsk)×Solarium(HWich)

オイティンは、小中輪・八重咲きでカップ状のオトナ可愛い赤いバラです。花卉の質がしっかりといて花保ちが良く、開花時には房咲きの枝が全部咲いた状態で花の塊となって、モリモリで見応えがあり、なんだかもうスゴい事になっています。葉は革のようにツヤがあり、健康的によく茂ります。ハーディネスゾーンナンバー4と耐寒性もあり、冷涼地向けのバラだと思えます。名前はドイツ北部にある街に由来します。作曲家ウェーバーの出身地として有名で、毎年夏にオイティン音楽祭という野外のオペラのイベントを開催しています。日本との繋がり、昭和を代表する日本画家 東山魁夷氏の『水辺の朝』はオイティンの湖を描いたものと云われています。

当品種は希少品種で、残念ながら現在はほとんど流通しておりません。伝え聞いた話では、「ドイツで作出したけどご当地でうまく育たなくて流通しなかった」ということです。作出である Kordes の本社があるシュパリースホープはオイティンと同じドイツ北部のシュレースヴィヒ=ホルシュタイン州にありました。同じ州の東部と西部とほんの少し離れていますが、季候はほとんど変わりません。岩見沢の季候と比べてみると、ドイツのほうが気温は夏が少し低

めで冬は暖かく、降水量は年間通じて少ないことが分かりました。積雪量ですが、気温と降水量からしておそらく少ないかほぼ無いと思われます。他にも土壌などの条件はありますが、北海道よりも緯度は高いものの、偏西風もあるでしょうから、冬の条件は厳しくないように思いますが…なぜ育たなかったのでしょうか？当品種は、1940年に作出したのち、1947年にオーストラリアの Hazlewood Bros. Pty. Ltd. が‘オイティン’として発表し、同社は1976年に売却されました。その影響で立ち消えた…という事も考えられます。また、‘Hoosier Glory’ という別名があり、直訳すると『馬鹿げた栄光』という意味になります。「めちゃくちゃいいバラができた！」と思って育ててみたものの、生育がイマイチだったため Kordes 氏が付けた名前なのかな…と考えてみたり。色々妄想が膨らんで楽しいですが、想像の域は出ません…。

当園ではバラ園入口担当として、長く花をつけお客様の目を楽しませています。5月現在、バラ園はお休みしていますが、一日でも早くいつもの日常に戻って、見ごろを迎えるころにはたくさんの方に喜んでいただけることを願っています。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 6月13日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ④ 開花調整
料金：無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグローワー
- 6月14日(日) 13:00~15:00 寄せ植え! カラーコーディネート
料金：2,000円~(容器代別途) 定員：30名
講師：土谷 美紀さん 恵庭サンガーデン
- 6月20日(土)・28日(日) 10:00~12:00 バラ管理スタッフのローズツアー
料金：無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ
- 6月28日(日) 10:00~12:00 バラの美しい写真の写し方
料金：無料 定員：20名 講師：河野 芳廣さん カメラの理光
- 6月28日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
料金：1,000円 定員：20名
講師：大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー

※6月7日(日)に予定されていた、『小品盆栽・苔玉の楽しみ方』は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い講師と協議した結果、中止が決定しました。
※新型コロナウイルスの状況により、内容変更または中止の可能性あり。
詳しくはお電話かホームページにてご確認ください。
電話 :0126-25-6111 ホームページ :<http://www.iwamizawa-park.com/>

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・事前申し込みがなく当日に飛び入り参加される方は定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・各講座の定員につきましては、こちらで予告なく変更させていただく場合がございます。(密集を避けるための対策です。ご容赦ください。)
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。
受講される方はあたたかい格好でお願いします。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますよう
よろしく願いたします。